

第五次羽村市長長期総合計画に定める市の将来像  
「ひとが輝きみんなのできる  
安心と活力のまちはむら」を目指して

一般会計 208億8000万円 (前年度比0.5%減)

平成26年度は、「第五次羽村市長長期総合計画」の前期5か年の3年目にあたり、計画の中間点として、基本構想に掲げる将来像の実現に向けた取り組みを確実なものとしていく必要があります。

このため、平成26年度予算は、財政の健全性を維持しつつ、限られた財源をより効果の高い施策に重点配分することを基本方針とし、「第五次羽村市長長期総合計画」に掲げた事業の予算化に努めました。

特に、「市民生活の安全と安心」「都市基盤整備」「産業の活性化」「市民活動の活性化」「生涯学習の推進」「地球温暖化対策」という、将来を見据えたこれからのまちづくりの柱となる6つの重要施策について、優先的に予算化を図りました。

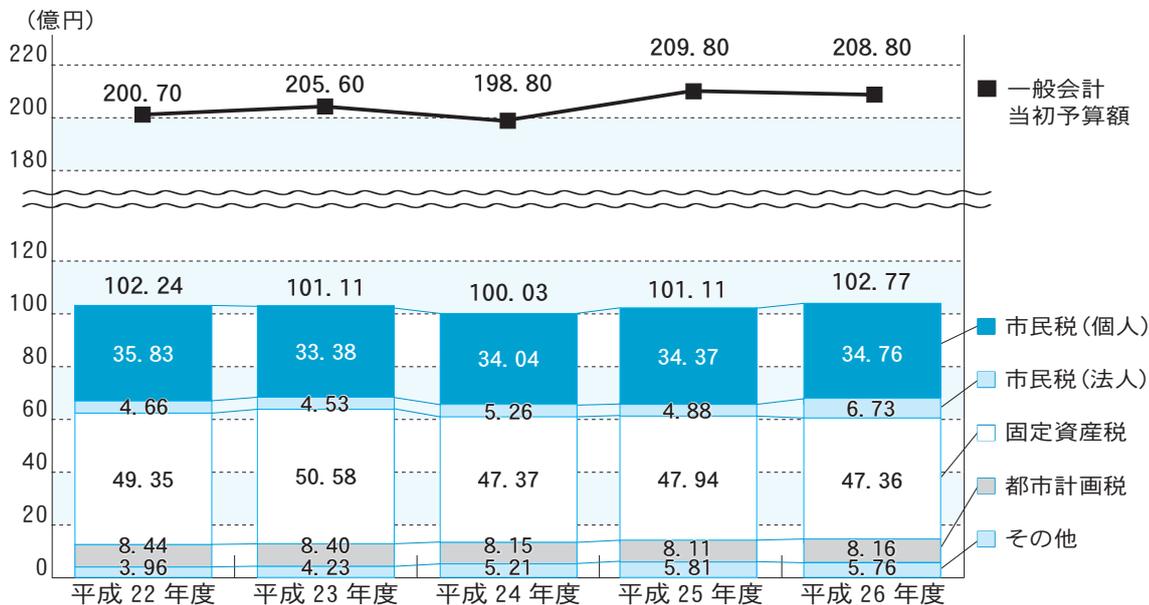
一般会計の予算規模は、臨時福祉給付金および子育て世帯臨時特例給付金の支給などによる増加があるものの、人件費や普通建設事業費、特別会計への繰出金が減少したことなどから、前年度と比べて1億円(0.5%)減の208億8000万円となりました。

◆ 平成 26 年度予算～各会計の内訳と前年度との比較～ (単位：千円)

区 分	平成 26 年度 (当初)	平成 25 年度 (当初)	増減額	増減率	
一 般 会 計	20,880,000	20,980,000	▲ 100,000	▲ 0.5%	
特 別 会 計	国民健康保険事業	6,422,500	6,493,000	▲ 70,500	▲ 1.1%
	後期高齢者医療	932,700	858,400	74,300	8.7%
	介護保険事業	2,812,500	2,627,700	184,800	7.0%
	羽村駅西口 土地区画整理事業	319,300	415,300	▲ 96,000	▲ 23.1%
	下水道事業	1,250,300	1,279,500	▲ 29,200	▲ 2.3%
	特別会計合計	11,737,300	11,673,900	63,400	0.5%
水道事業会計	1,518,761	1,434,312	84,449	5.9%	
合 計	34,136,061	34,088,212	47,849	0.1%	

※水道事業会計は企業会計のため、「収益的支出」「資本的支出」を合計し、予算額としています。

◆ 一般会計当初予算額と市税収入の推移



※表示単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

◆ 財源補完の状況

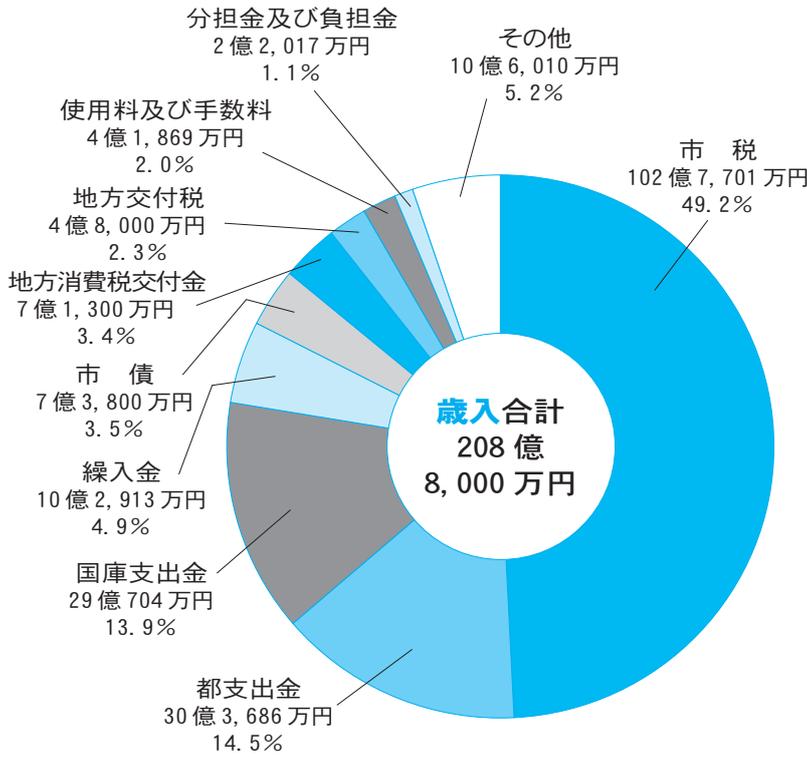
年度間の財源調整、歳出の財源補完として、計画的な視点に立ち、財政調整基金からの繰入金や臨時財政対策債の活用を図りました。

	平成 26 年度 (当初)	平成 25 年度 (当初)	増減額	増減率
財政調整基金 (繰入額)	737,336	885,919	▲ 148,583	▲ 16.8%
臨時財政対策債 (借入額)	600,000	720,000	▲ 120,000	▲ 16.7%

## 歳入の内訳

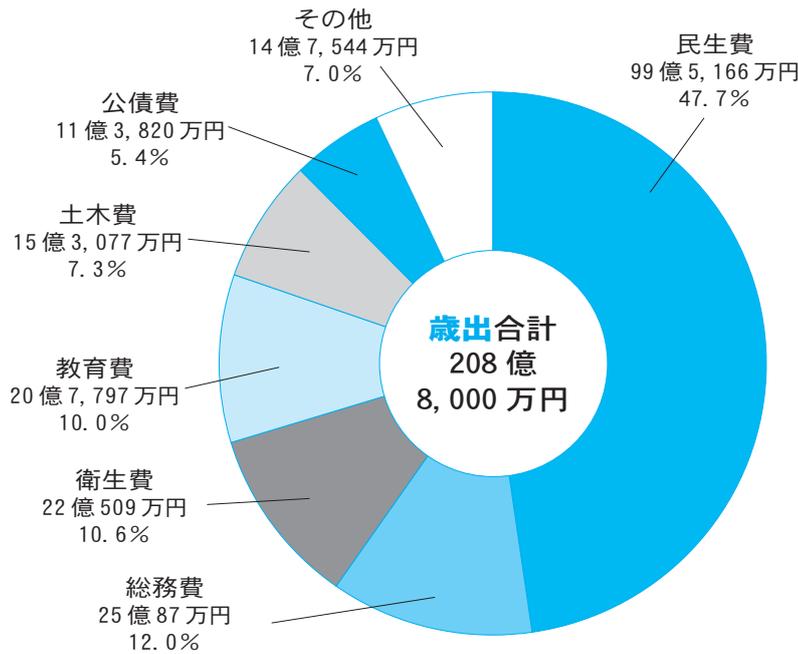
歳入の根幹となる市税収入は、102億7,701万円、前年度と比較し1億6,639万円(1.6%)の増となり、対前年度当初予算比で2年連続の増加となりました。

市民税では、個人分は震災復興特別税に係る個人住民税均等割額の上乗せや税制改正による影響などで、前年度と比較し1.1%増の34億7,576万円とし、法人分は一部大手企業の業績回復を見込み、前年度と比較し37.8%増



の6億7,260万円としました。固定資産税では、償却資産は新規の設備投資が少なく既存資産の減価償却が進むことなどから、全体では前年度と比較し1.2%減の47億3,648万円としました。

また、国・都補助金などの財源の確保を積極的に図るとともに、将来にわたり健全な財政運営を堅持できるように、計画的な視点に立ち、財政調整基金や市債などを有効に活用し、予算を編成しました。



## 歳出の内訳

災害対策事業として、小・中学校体育館改修工事(非構造部材対策)、羽村堰下橋ほか2橋耐震補強等設計委託、防災行政無線(移動系)機器の更新などを予算化しました。

安全で快適な都市の形成に向けた事業として、道路ストックの総点検、市道第202号線(羽村第三中学校前)測量・設計委託、街路照明施設改修工事(LED化)などを予算化しました。

また、保健・医療の充実を図るため、

30歳・35歳健康診査、乳がん検診の集団検診の実施などを予算化しました。

教育分野では、多様なニーズに応じた特別支援体制(インクルーシブ教育システム)の構築、特別支援学級の開設準備、放課後子ども教室の推進などについて予算措置しました。

## 行財政改革への取り組み

「第五次羽村市長期総合計画」に掲げた事業を積極的に推進するとともに、市政の重要課題に果敢にチャレンジしていくためには、施策の展開を支える強固な財政基盤を確立する必要があります。

このことから、平成26年度予算においても、財政規律を維持しつつ、事務事業の見直しなどに取り組み、財源の確保などを図りました。なお、予算の執行にあたっては、さらなる歳入の確保、経常的経費の抑制に取り組んでいきます。